

児童室だより No. 76(2011. 7発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p align="center">『月のかがく』</p> <p align="center">えびなみつる絵と文 渡部潤一監修 旬報社 2011.5 【小中～小高】</p>	<p>夜の空に明るく輝く月。夜毎に形を変えていたり、とても大きく見えるときがあったり、月って不思議だなあと思った事はありませんか？そんな疑問にやさしく答えてくれるのがこの本です。月がどうやってできたのか、月の表面はどうなっているのか、どうして形がかわるのかなど写真と図を使ってわかりやすく説明しています。月の謎にせまってみませんか。</p> <p align="right">(J446-エヒ-1110180079)</p>
<p align="center">『ケンタのとりのすだいさくせん』</p> <p align="center">山下美樹作 市居みか絵 文溪堂 2011.3 【小低】</p>	<p>ケンタはシャンプーが大きらい。あたまをあらわなくてすむように、自分のあたまを小鳥の「す」にします。夜、ケンタは小鳥をおとさずねむるようにくふうしますが、うまくいきません。朝になると、おかあさんがケンタの古いむぎわらぼうしを出してくれました。こえだやはっぱをいれれば、すてきな「す」のできあがり。その日だけは、ケンタもおとなしくあたまをあらってもらいました。</p> <p align="right">(J913-ヤマ-1110153518)</p>
<p align="center">『ミルクマンという名の馬』</p> <p align="center">ヒルケ・ローゼンボーム作 木本栄訳 岩波書店 2011.3 【小中】</p>	<p>ある日突然、家に一頭の大きな白い馬が迷い込んできました。ヘルマンはその馬を「ミルクマン」と命名し、必死にかくまおうとします。ミルクマンは「トルス」という今ではめずらしいけれど、使い道のない、時代遅れの品種の馬だとわかります。馬どろぼうやミルクマンの飼い主との騒動のすえ、老人ホームに住むフイヤーバウハさんの助けを借りて、ヘルマンはミルクマンに、ある役割をあたえることにしました。</p> <p align="right">(J943-ロセ-1110158990)</p>
<p align="center">『とくべつなお気に入り』</p> <p align="center">エミリー・ロッド作 神戸万知訳 下平けいすけ絵 岩崎書店 2011.4 【小中】</p>	<p>学校のバザーでケイトのおかあさんは中古服のお店を出します。そのため、家の物おき部屋には、たくさんの洋服が運びこまれました。バザーの前日、ケイトは夢の中で、バザーによせられた「お気に入り」の服に対する、元の持ち主たちの特別な思いを知ります。バザーの日お店は大好評。夢にでてきた「お気に入り」の服たちも、次々と新しい持ち主を見つけていきます。ところが、おじいさんのガウンだけが残ってしまいます。</p> <p align="right">(J933-ロツ-1110173468)</p>
<p align="center">『しあわせラーメン、めしあがれ！』</p> <p align="center">上條さなえ作 下平けいすけ絵 汐文社 2011.1 【小中】</p>	<p>ある日、仁吉のママをたよりに小春おばさんがやってきます。小春おばさんは、おじいちゃんの恩人で、元ラーメン屋のおかみさん。財産を投じてケアハウスに入居しましたが、そこの料理がまずくて出てきてしまいました。仁吉は、えんりょのない小春おばさんにびっくり。仁吉の家で何日か過ごした後、ある決心をした小春おばさんは、ケアハウスに戻ることにします。</p> <p align="right">(J913-カミ-1110134666)</p>
<p align="center">『チョコレートと青い空』</p> <p align="center">堀米薫作 小泉るみ子絵 そうえん社 2011.4 【小中】</p>	<p>周二の家は専業農家。農業の指導者になるために、ガーナから日本へやってきたエリックさんを、研修生として受入れることになりました。ガーナはチョコレートの国。周二たちはうらやましがっていましたが、ガーナの子どもたちはカカオを割る仕事に追われ、学校にも行けず、高価なチョコレートを口にするということもないという厳しい実情を知らされます。勉強熱心で夢に向かって進むエリックさんの姿が、周囲の人たちを徐々に変えていきます。</p> <p align="right">(J913-ホリ-1110179757)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="204 241 587 286">『ミンのあたらしい名前』</p> <p data-bbox="199 324 598 436">ジーン・リトル著 田中奈津子訳 講談社 2011.2 【小高】</p>	<p data-bbox="702 212 1492 436">11才の少女ミンは孤児。幼い頃、里親に捨てられ、心を閉ざしています。4人目の里親から施設に返されることになったミン。その様子を見ていた小児科医のジェスは、ミンを引き取る決心をします。今までの里親とは違い、ミンを理解し受け止めてくれるジェス。ジェスに支えられ、ミンは少しずつ心をひらいていきます。そして、人を信頼できるようになっていきます。</p> <p data-bbox="1212 443 1492 472">(J933-リト-1110150928)</p>
<p data-bbox="183 510 614 555">『宇宙がきみを待っている』</p> <p data-bbox="247 593 550 705">若田光一著 岡田茂著 汐文社 2011.4 【小中～小高】</p>	<p data-bbox="702 481 1492 705">宇宙飛行士若田光一さんの半生が描かれています。宇宙飛行士の訓練、宇宙ステーションでの生活などについて紹介されており、なかにはびっくりするようなエピソードもあります。ところどころに、宇宙での生活の様子がわかる写真も掲載されています。2013年には国際宇宙ステーション長期滞在が決まっている若田さん。宇宙への熱い思いが伝わってくる一冊です。</p> <p data-bbox="1204 712 1492 741">(J538-ワカ-1110164870)</p>